

薄くて軽い緑の屋根から思いを馳せる

渡辺智恵 有限会社 照花



平屋屋根 (110㎡ 2024-9)



工場屋上 (93㎡ 2024-9)



工場屋上 (260㎡ 2025-10)



カーポート屋根 (43㎡ 2023-4)

建築物の緑化は、室内や近隣への照り返しを軽減するだけでなく、周辺や室内の温度低下も見込め、CO₂排出の削減も担うなど、人や環境によい影響をもたらす。また、屋根や外壁に整然と広がる緑は建物や地域の景観の向上にもつながるなど、次世代への貴重な贈り物となる。

人と自然の関係の再生にたずさわる環境再生医として目指したのは、荷重制限のある既存の建築の上に気軽に緑化を楽しんでもらうことだった。施工時の厚みが3cmと薄くて軽量の屋根や屋上の緑化に30年近く取り組んできた。緑の軽量化は、緑化コストを抑え、建築構造物への負担も小さく、建物を強化する必要がないので、既存建築への緑化を容易にする。

もちろん自然の土壌ではないので、育成や維持管理には水やりが必須となる。そのため、散水の手間を極限まで減らすなどメンテナンスの負担を軽減し、維持管理も含め緑をずっと楽しんでもらうための方法も提案し続けてきた。

たとえ小さな住宅の緑化でも、積み重ねることで都会のヒートアイランド現象の緩和につながり、さらにはCO₂の排出削減にも一役担う事が出来ると考えている。

緑の屋根

所在地	愛知県内4カ所
施工	(有)照花
緑化面積	43~260㎡
工法	薄層・軽量MP緑化工法
竣工	2024年8月~2025年10月
撮影	@照花